

報告期間		ユーザー様名			S I 名・指導者名		
2006年8月1日()から		A社			OFFICE-IGUCHI		
2006年8月31日()まで					井口 一成		
製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など)							
家電品部品、OA機器部品							
生産形態、工程の要素							
組み立て 機械加工 板金 プレス 溶接 塗装 メッキ 研磨 鋳物 鍛造 熱処理 実装、SMT 溶解 スリット 切断 溶断 成型 圧延 凝固 接着 食品加工 プラスチック加工 化学薬品 衣類(裁断・縫製・ボタン) 皮、ゴム、紙加工 織、編 印刷(除マニュアル等)・手書き 染色 エッチング その他()							
指導種類	新規導入 バージョンアップ 再導入 その他()						
今回指導回数	63回目～70回目						
TPiCSバージョン	TPiCS X Ver3.1						
オプション・DB	受注販売管理OP、						
アイテム件数	3024件	BOM	3991件	所要量計算	18回/月	製番展開	回/月
実績インプット	370件/日	伝票発行	18回/月	伝票発行	280件/回	製番展開	件/回
出席者	生産管理PG責任者、運用担当者、						
今回の指導目的							
【今月の予定】							
・生産管理業務の見直しをして業務改善をする。							
・TPiCSの生産管理システムは本稼動していますが、出荷残(納期遅れ) 受注残(納期遅れ)の対応が出来ていない。この問題について調査し対策する。							
【8月の実施内容】							
発言者：(社長、TPiCS導入責任者、運用責任者、各課の担当者、)							
社長さんからTPiCS関係者に「早く使えるシステムにするための協力と努力をして下さい。」と話をして頂きました。							
受注業務、出荷業務、計画立案業務、納品受付業務、の担当者と責任者を対象にヒヤリングを現場で実施した。							
【受注業務】							
外注先から得意先に直送し、外注先が納品伝票を経理に郵送されるものがある。							
受注は、得意先から月に4回受け取り、TPiCSの受注として登録する。							
外注先には、受注データをもとに計画立案者が作成した納入計画表(予定表)を郵送する。							
この納入計画表で、外注先は生産し、得意先に直送する。							
納入計画表をTPiCSの生産計画表に入力して注文書を外注先に郵送する事になっていたが、入力者は、納入計画書(予定表)を受注として入力し外注先に注文書を発行していた、受注のダブル入力となった。							

結果として、発注残となっていた。

【出荷業務】

出荷が夜になる物があり、入力者が居ないので翌日の朝一番に入力するルールとした。

それ以外は、リアルタイムで入力できるように入力者の席を現場事務所に移動した。

倉庫に何が何個在るか見て分かるように、倉庫在庫の整理整頓をした。

【9月の予定】

- ・生産管理業務の見直しをして業務改善をする。

結 論

【所感】

生産管理システムとしては、本稼動できましたが、現場での運用を調査すると、問題点に気が付かないで間違った作業をしている所があった。

T P i C Sの正しい運用と現場管理について再度説明し、手順書を修正して作業者に徹底させている。

検討事項・要回答事項・要継続審議事項

事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者		
		年 月 日()			